

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネスコミュニケーション I		(TCR206)
講義名（コード）	TCR_ビジネスコミュニケーション I_C		(TCR206C)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	竹内 通子	時間数	30
成績評価教員	竹内 通子	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、ビジネス場面での専門的な話題でやりとりができるようになる。
全体の内容と概要	N2の文字語彙と読解を中心に学ぶ。たくさんの文章に触れ、ビジネスに必要な言葉を身につけ、ビジネス文章を素早く理解する力をみにつける。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	この授業の目的・ゴールを確認する。	オリエンテーション 必修パターン：指示語
2	書いてある事項を客観的に読む力をつける。	必修パターン：事実関係 パワードリル：16回目
3	言葉の意味に注目して読み解くことができる。	必修パターン：言葉の意味 パワードリル：17回目
4	話の展開を追うことができる。	必修パターン：話の展開 パワードリル：18回目
5	人物の気持ちを読みとることができる。	必修パターン：人物の気持ち パワードリル：19回目
6	理由や根拠を把握しながら読む力をつける。	必修パターン：理由や根拠 パワードリル：20回目
7	全体の内容を素早く把握する力を身につける。	必修パターン：全体の内容 パワードリル：集中トレーニング⑦ / 課題配布（模試問題など）
8	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	課題（模試問題など）
9	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説（JLPT模試 文字語彙）
10	筆者の言いたいことを素早く把握する力をつける。	必修パターン：筆者が言いたいこと パワードリル：集中トレーニング⑧
11	縦書きなどの手紙にも慣れ親しむことができる。	必修パターン：連絡文 パワードリル：21回目
12	必要な情報を素早く把握する力を身につける。	必修パターン：情報検索 パワードリル：22回目
13	総合力を身につける。	前期のまとめ
14		前期期末試験
15		前期期末試験FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	日本語能力試験 N1読解 必修パターン 読解 パワードリルN1 文法
参考文献・資料等	適宜、追加問題プリントを行います。
備考	